



茶の香だより

第19号

令和元年6月1日発行

発行元：武蔵村山市立第五中学校

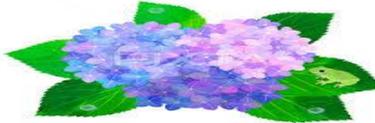
学校運営協議会

編集：学習部

今年度のコミュニティ・スクール開始にあたって

武蔵村山市立第五中学校

校長 榎戸 千代子



「令和」の時代が始まりました。今年度本校は、生徒数629名でスタートしました。「令和」に込められた意味を受け止め、子供たち一人一人の夢を叶え、希望が実現できるように、教育活動のより一層の充実を図りてまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校のコミュニティ・スクールは、五中の生徒のために、「学習・生活・地域連携」の3つの部で、活発な活動をしていただいております。今年度も学校運営協議会委員の皆様の御協力をいただき、「チーム五中」一体となって取り組んでまいります。保護者、地域の皆様の御理解と積極的な参加をよろしくお願いいたします。

ご挨拶

学校運営協議会 会長 西川 義則

日頃から本校学校運営協議会の活動にご理解ご協力、頂き誠にありがとうございます。元号も令和に替わり、学校運営協議会も新しい気持ちで取り組みたいと思います。

さて、6月は運動会や五中フェスティバルと大きな行事が立て続けに行われます。特に五中フェスティバルでは、子ども達をご指導頂く講師の方々との打ち合わせ等を綿密に行ってくれる、地域連携部の部会長を初めとするスタッフの方々が、ご尽力して頂きます。ありがとうございます。

学習部は夏休みに行われます夏季補習講座のサポーターの打ち合わせを武蔵村山高校と行い、生活部は校庭の芝刈りサポーターの取り纏めを行います。各部会とも少しずつ動き始めます。大変ではございますが、どうかよろしくお願いいたします。

令和元年からも地域の皆さま、本校教職員の皆さま、そして本校学校運営協議会のスタッフの皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

『武蔵村山昔のお話』



《江戸街道》通学途中にこの看板を見かけたことはありませんか？第五中学校の南側に走る街道、昭島駅に向かうバス通りの一部です。皆さんがいつも利用しているこの道は、とても重要な街道だったそうです。

慶長8年（1603）頃、徳川家康は江戸城修復のために青梅小曾木の消石灰や奥多摩の木材を運搬するために江戸街道を開通したそうです。そのためにこの残堀の地には旅人目当てに駄菓子屋、酒屋、宿屋が出来ていたそうです。江戸時代の人々の暮らしや思いなど様々な人間模様が想像できます。

お天気の日に見える雄大な富士山をも同じように眺めていたのかもしれないね。

令和の新時代にあたり

地域連携部会長 荒幡 善政

地域連携部の活動は地域と学校とのつながりを大切に育てていく部会です。大きく3つの活動があります。一つは五中フェスティバル講師、また、職場体験の場所、更にはボランティア活動の斡旋等があります。

このところ、生徒は減少傾向にあるため、新規開拓の必要があるのは、主にボランティア活動であると思います。

「ボランティア活動」とは、人の出会いや自分自身を成長させるもの、自分の世界を広げることができる活動、自らの意思で人の役に立つ行いをすること、と定義付けされています。

ボランティア活動に参加するのは人それぞれいろいろな考えや思いがあると思いますが、生徒たちには机上の知識だけでなく、ボランティアを通して課題を見付け解決していく力や最後までやり遂げる力を身に付け、地域や人と人とのつながりの入り口にしてほしいと思っています。

ボランティア活動を通して生徒たちは、地域の方々、校区の児童や園児たちとふれあうことの大切さを学んだり、自己有用感の高まりを実感したり様々な成果がみられます。一方でボランティアの募集人数には制限があり、応募した生徒全員が参加できないという課題があるのも事実です。今後はこのことを踏まえつつ、ボランティア活動をさらに広げていきたいと考えておりますので、地域の皆様の御協力をお願いいたします。

ご挨拶

生活部会長 加園 一茂

今年度、生活部長を勤めさせて頂きます加園一茂と申します。

生活部では五中校区の防犯パトロール、五中校庭の芝刈り、校内廊下のペンキ塗り等を行っております。どの活動も本校学校運営協議会生活部だけでは運営出来ません。五中・二小・八小・十小の学校運営協議会、先生方・PTAの皆様、青少対、おやじの会、そして地域の皆様の協力があってこそ成り立つ活動でございます。生活部、チーム一丸として五中及び校区小学校の子供達の為になるよう活動していきたいと思っております。

今年度も引き続きご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

今年度の学習部活動について

学習部会長 高橋 圭子

令和という新元号とともに、学習部も新たな気持ちで今年度の活動の充実に取り組んでまいりたいと決意しております。

学習部は、夏期補習教室における学習支援ボランティアによる学習サポート、進路模擬面接の練習、年3回の茶の香だよりの発行を活動の柱としてまいります。

学校と連携をとりながら、保護者様、地域の皆様の御理解、御協力をいただきながら、学習部としての活動に励んでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

山口郵便局長（委員）の「手紙のマナー」③ 便せんのマナーについて

改まった内容や目上の方に宛てて書く場合は『白無地』を選ぶのがルールです。明るい色や模様が入ったものは、親しい間柄のみにしましょう。便せんは2枚以上書きましょう。緊急な用件などを除いては、1枚で終わらせないように気をつけます。（1枚で書き終えてしまった場合、かつては白紙の便せんを添えて2枚にするのがマナーとされていましたが、

現在ではあまり重要視されていないようです。

また、お悔やみの手紙は、不幸が「重なる」と言う事を避けるために1枚にまとめる場合もあります。

●学習部より保護者様へ

学校運営協議会では、標準服のリサイクル事業を行っています。

御家庭にある標準服をお譲りいただくと大変助かります。

五中フェスティバルにて、ワンコイン販売をさせていただく予定です。

御協力お願い致します。

お問い合わせは

team5mmcs@gmail.com

に御連絡ください。【高橋】